



4泊5日間
夜に咲くホタルの光に癒される旅。



感動を分かち合い、忘れられない瞬間を

tropicalasiatours.com

1 日目 空港 - ダンブッラ



スリランカに到着

TAT スタッフがお出迎え致します。ダンブッラへ移動します。

(空港～ネゴンボ：約3時間30分)

ホテルにチェックインして、ごゆっくりします。

ヘリタンス カンダラマでの夕食と宿泊- (ヘリタンス カンダラマ-5* ダンブッラ)

食事付き: 夕食のみ

<https://www.heritancehotels.com/kandalama/>

2 日目 ダンブッラ - シギリヤ - ヒリワドゥナ - ミンネリヤ - 蛍の光が煌めく旅

朝食後、シギリヤを見学します。

(カンダラマボからシギリヤまで約40分)

シギリヤ(遠足には約3時間)



シギリヤは、5 世紀に建てられた「世界遺産」で、「空の要塞」として知られています。これは、おそらく島で最も素晴らしい不思議なものです。600 フィートの高さの岩の頂上にある宮殿の入り口にかつて立っていた巨大なライオンのため、ライオンロックとも呼ばれます。その頂上には王宮の基礎、水や他のすべての建物に供給するための水タンク、そして守衛所の端にあります。階段の1つで、シンハラ語の世俗的な絵画の唯一知られている古代の作品は

後、ヒリワドゥナへ、クッキングデモンストレーションをお楽しみください。

(シギリヤからヒリワドゥナまで約30分)

ヒリワドゥナヴィレッジトレック

ヒリワドゥナヴィレッジはわずか2 km (ノバラナから車で05分)です。タンクまたは人工の貯水池の堤防沿いの素晴らしい散歩から典型的なスリランカの村のトレッキングを始めます。貯水池自体、周囲の低木ジャングル、湿地帯、村は、早朝または夕方の活動のハイブです。驚くべき野鳥、蝶、ワニの可能性のある目撃は、村人たちが早朝に釣りをしたり、湖の周辺で服を洗ったりするのを見ている魅力に加えます。(観光時間約1時間半)



ヒリウドゥナで伝統的な村の生活を体験とお楽しみに伝統的なスリランカの昼飯を召し上がり、村の家でライブクッキングのデモンストレーション付き



完了したら、シーギリヤに進むとシーギリヤロック要塞を訪れます。
(ヒリウドゥナからミネーリヤまで約 30 分)

ミネーリア国立公園(遠足には約 3 時間ぐらい、ジープで)



この国立公園は、最大 8,889 ヘクタールに及び、ジャングルをローミングし、湖の集水域で見られる 100~150 頭の群れのゾウの大集団で有名です。入り口は、ハバラーナから主要なハバラナポロンナルワ道路の約 6 km のアンバガスウェワにあります。ミネーリア国立公園では約 300 頭の野生の象が記録されており、8 月と 9 月にはこの国立公園で有名な象の採集が行われ、一目で何百頭もの象を見つける

ことができます。(観光に約 3 時間)

(ミネーリヤからダンブッラまで約 30 分)

ダンブッラホテルに戻ります。

「蛍の光が煌めく旅」。。。

蛍が無い、その光が一瞬でも心を奪う景色を楽しむ、まるで夏の夜の夢のような旅に出かけましょう。



ヘリタンス カンダラマでの夕食と宿泊- (ヘリタンス カンダラマ-5* ダンブ
ラ)

食事付き: 夕食のみ

<https://www.heritancehotels.com/kandalama/>



3日目

カンダラマ-ダンブッラの洞窟寺院-スパイスガーデン-ナーランダーゲディゲ-蛍の光が煌め旅

お早めの、朝食後、ダンブッラの洞窟寺院を見学します。

(カンダラマボからダンブッラの洞窟寺院まで約30分)

ダンブッラ(遠足には約1時間半)



ダンブッラ洞窟は、高さ500フィート、周囲1マイルの広大な孤立した岩盤です。これらの岩柱の中には、スリランカのユネスコ世界遺産の1つであるダンブッラ洞窟寺院があります。ダンブッラの洞窟は、アヌラーダプラからの14年間の亡命中にワラガンバ王を守りました。彼が王座を取り戻したとき、彼は島で発見される最も壮大なロック寺院を建設しました。最初の洞窟には、岩から切り取った47フィートの仏像の横臥像があります。仏教にまつわる神々のイメージがいたるところにあります。壁や天井のフレスコ画はここで最も古い

ものですが、キャンディ時代には塗り過ぎです。二番目の洞窟には、すべての中で最も上質で最大のものがあり、150体の等身大の仏像がさまざまな姿勢で置かれ、神や王の像はほとんどありません。天井はフレスコ画で覆われており、仏の生涯の素晴らしい出来事やシンハラ人の歴史のランドマークが描かれています。

その後、マータレのスパイスガーデンを訪れ、自然の生息地で使用され、栽培されているスリランカのスパイスを紹介します。

(ダンブッラからマータレまで約1時間ぐらいかかります。)

スリランカのスパイスガーデン(遠足には約2時間)



ほとんどのスパイスガーデンがマータレにあり(ダンブッラからキャンディ途中で)またコロンボキャンディロードのマーフネッラにあります。お客様に見るためにシナモン、カルダモン、ペッパークリーパー、その他すべてのスパイスの木、植物、クリーパーが植えられています。スパイスから作られた品物希望があれば買うことができます。ガーデンを見に行くお客様

をガーデンの周りに連れて行ってそれぞれの木と植物についてご説明します。説明の終わりにご飯を作るために使用します。

その後、ナーランダーゲディゲへ進む、

(マータレからナーランダーゲディゲまで約1時間)

ナーランダーゲディゲ

ナーランダーゲディゲは、マータレにある古代の完全な石造りの寺院であり、その原典場所はスリランカの地理的中心地と考えられています。建物は8世紀から10世紀にかけてドラヴィダ建築で建設され、仏教徒によって使用されたと考えられています。の傑作建築物であるナーランダーゲディゲ。歴史を感じさせる古代の寺院のような存在。その美しい

石造りと神々しい雰囲気、に圧倒される旅を経験しましょう。ナーランダ・ゲディゲはスリランカの文化や宗教を知ることができる場所でもあります。古代の神秘と美しさに包まれ、心に残る旅になること間違いありません



アルヴィハラヤ



オプション - アルヴィハラヤ - 時間が許す場合のみ

マータレ ホテルにチェックインします。

マータレの夕食と宿泊- (グランドマウント-4* マータレ)

食事付き: 夕食のみ

<https://thegrandmountainhotel.com/>

(マータレからラットタまで約30分)

ラットタへ進む、



蛍の光が煌めく旅」。。。

蛍が無い、その光が一瞬でも心を奪う景色を楽しむ、まるで夏の夜の夢のような旅に出かけましょう。



4日目

マータレ- キャンデイ仏歯寺-ギラーガマ-コロンボ

朝食後キャンデイまで進む、

(マータレからキャンデイ約2時間半)

キャンデイ (遠足には約2時間)



丘の首都はもう1つの「世界遺産」です。ポルトガル、オランダ、イギリス統治時代のシンハラ人王の最後の砦であり、1815年に合意後、イギリスに譲られた。スリランカと世界の仏教徒にとって、キャンデイは「ダラダマリガワ」(仏陀の神聖な歯の遺跡の寺院)の本拠地であるため、最も神聖な場所の1つです。王宮(「マハワサラ」)の遺跡、クイーンズが滞在した「パレワサラ」、現在は国立博物館に使用されている「メダワサラ」、他の近親者が住んでいた場所、オーディエンスホール、ナサデバラ、

パシーニデバラは近くにあります。入浴パビリオン(「アルペンジ」)は湖のそばにあり、湖の中心には「キリサムドラヤ」(乳白色の海)と呼ばれる島があり、王たちが避暑地として使用しています。今日では、仏教、芸術、工芸、ダンス、

音楽、文化の中心となっています。美術館への入場には、1人あたり10米ドルの追加入場料がかかります。（観光に約2時間）



スリランカの宝石



青と黄色のサファイア、スタールビーとスターサファイア、クリソベリルキャッツアイ、アレクサンドライト、トパーズ、アメジスト、クォーツ、ガーネット、アクアマリン、ムーンストーン、トルマリンなど、世界最高の宝石がスリランカで入手できます。他の国と比較すると、スリランカで純粋で価値のある宝石を競争力のある価格で購入できるのは幸運です。あなたは宝石についての教育を受け、宝石やその他の要求をそれらと一緒にすることができます。ゴールド、ホワイトゴールド、シルバーのジュエリーをお好みで購入できます。好みに合わせてテーラーメイドにすることもできます

(キャンデイから茶畑まで1時間ぐらい)

茶畑



この産業は1867年にジェームズによって国に紹介されました、1852年に到着した英国のプランター。それ以来、スリランカは世界第4位の紅茶生産国です。ゲラガマ茶工場は1903年に建てられた、国内有数の高級茶畑です。スリランカ中部に位置するゲラガマ茶畑。キャンデイに一番近い茶畑でございます。ゲラガマ茶畑は何ヘクタールにも広がっています。国の中央高地の涼気温と降雨量は、高品質のお茶の生産に好都合な気候を提供しています。

(茶畑からコロomboまで約3時間15分)

グランドベルホテルでの夕食と宿泊- (グランドベルホテル-4* コロンボ)

食事付き: 夕食のみ

<https://granbellhotel.lk/>

5日目
コロンボ-ケラニヤ-空港



朝食後、コロンボのシティツアーを始める、

コロンボ (遠足には約1時間)



コロンボはビジネスと商業の中心地であり、新しい首都はわずか数マイル先のスリジャヤワルダナプラコッテです。コロンボは小さな港にすぎず、16世紀に1505年にポルトガル人が到着後主要な港になり、イギリスの時代に主な港として発展しました。コロンボはキャンディアン王国がイギリスに割譲された後の1815年にスリランカの首都になりました。ポルトガル、オランダ、イギリス統治時代の建物の残骸は、街のいたるところにあります。

今日、ポルトガルとオランダの要塞は見つかりませんでしたが、それらの建物や教会のいくつかは、フォートとペタのエリアで見ることができました。

(コロンボからケラニヤまで約30分)

その後、ケラニヤへ進む、

ケラニヤラジャマハウィハーラ

2500年前に仏陀がケラニヤラジャマハウィハーラにいらっしゃいました。マハーワンシャによって

ハヴァムサによれば、ケラニヤにある「水田」の形をしたダゴバは、ナーガ王マニアッキカの要請により、仏像が「宝石がちりばめられた玉座」に座り、ダルマを説教し、改宗させた場所を示しています。紀元前3世紀のヤタラティッサ王が寺院を建設し、ダゴバは以前の時代にさかのぼるかもしれません。「ドゥルトウペラヘラ」と呼ばれる毎年恒例のペラヘラは、この聖地を尊重するために、毎年1月に3日間開催されます。

(観光に約1時間)



空港江の出発便の完了。

(コロンボから空港まで1時間)

。。。ツアーの終わり。。。